

活動報告

2016年2月23日付号

日本共産党
前市議員

とがし豊



皆様のご意見をお寄せください！発行・日本共産党京都左京地区委員会 電話・761-6341(自宅TEL771-7847)

日誌

【12月】

3日保育園卒業対策委員会／下鴨神社 糺の森を考える市民の会世話人会／5日京都バラ会忘年会、党京都経済懇談会（大門みきし参院議員）／8日京都労演観劇／9日戦争法を廃止する左京の会幹事会、学校跡地・まちこわし反対団体交流会／10日京都市風致保全課による下鴨マンション風致条例違反工事追認への抗議と許可取り消し求める申し入れに参加／19日戦争法廃止左京みんなのデモ・市役所前集会／21日上下水道漏水問題の生活相談／23日消防団年末特別警戒／26日まちの文化歴史発見した〜い（元新洞小学校教育実践に学ぶ）学習会、消防団年末特別警戒／25・27日消防団激励／30日消防団

【1月】

2日下鴨神社参道前で本田久美子さんと宣伝／3・6日光永府議と一緒に挨拶まわり／6日戦争法廃止する左京の会幹事会／8日市長選左京決起集会／9日まちかど演説会／11日消防団川東分団出初式、聖護院分団初出式／戦争法廃止もとめ左京区内で活動する団体の懇談会／13日市政報告演説会@四錦小／16日市政報告演説会@日吉神社／17日川端診療所の新春の集い／19日左京みんなのデモ・市役所前集会／21日市民大集@府立体育館／24日京都市長選挙告示、本田久美子個人演説会@教文 103／本田久美子個人演説会@平安の森／26日聖護院自治連新春懇談会／31日本田久美子個人演説会@養正小／

【2月】

2日本田久美子個人演説会@葵小／3日本田久美子百万遍大街宣・節分宣伝／6日下鴨神社にマンション・巨大倉庫は入らないデモ（糺の森未来の会主催）／7日京都市長選挙投票日／8日市長選報告集会／9日戦争法廃止する左京の会幹事会／10日下鴨神社糺の森を考える市民の会世話人会／13日朱雀高校陸上部OB会／14日日中友好協会手作り餃子パーティ／16日長女半日入学／19日左京みんなのデモ・京都市役所前集会／20日京都バラ会植物園剪定会、井上さとし参院議員&左京議員団キャラバン宣伝、消防団／22日保育園卒園対策委員会／27-28日地域訪問活動（予定）／28日葵ホットステーション（予定）



2月20日、井上さとし参院議員と光永府議、加藤市議、樋口市議と一緒に訴え。

本田久美子市長候補へのご支援・ご協力に感謝

去る二月七日投開票で行われた京都市長選挙で、本田久美子候補へのご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。子どもの医療費を中三まで無料にしてほしい、下鴨神社へのマンション建設をストップさせてほしい、左京南部に支所を設置してほしいなど切実な願いのかかった選挙だっただけに、市政転換の願いが叶わず悔しくてなりません。皆様のご意見をしっかりと受けとめ、今後の活動などにも生かして参ります。



市長選では、厳しい寒さの中、各地で開いた演説会に本当にたくさんの方にいただきました。ありがとうございました。

野党共闘が画期的な前進 戦争法廃止、選挙協力で合意

市長選挙の残念な結果をうけ、悔しい思いをしている中、十九日、電撃的なニュースが流れました。「五野党党首が戦争法廃止・安倍政権を終わらせるため選挙協力で合意」とのニュース。これはすごい！と鳥肌が立ちました。高まり、毎月十九日「左京みんなのデモ」はじめ粘り強い全国の取

り組み、そして三〇八万筆まで到達した署名運動——これらの粘り強い奮闘がここに結実したのです。これからの勝負。草の根から安保法制＝戦争法廃止の流れを加速させるため、一緒にがんばりましょう。

下鴨神社に大倉庫・マンションは入らない！住民パレード

二月六日、下鴨神社境内周辺で「下鴨神社にマンションも巨大

倉庫も入らない」という市民パレードが行われ、私も参加（主催・糺の森未来の会）。投票日直前といはいえ工事阻止のためにこの日しかないと思死な思いで開催し、表現方法も含め、警察とも入念な打ち合わせもされたそうです。住民の皆さんは裁判闘争を決断されましたが、私も糺の森と京都の町を愛する住民の一人として全力で頑張ります。

雑記帳・半日入学

長女の小学校入学に向けた準備が始まっています。一六日には「半日入学」。小学校の教室で「授業」を体験。画用紙に絵をかいたり折り紙を折ったり。どんな雰囲気かを学んだようです。「お父ちゃんと離れ離れになるのがいやなんやけど」と不安をもらす娘ですが、父もかなり不安です。

錦林小学校の新入生は一〇〇人超・四クラス編成だそうです。一年八〇人・二クラスの学校に通っていた私よりはましな教育環境と言えるかもしれません。しかし、教室に座っている子どもたちをみるとせめて欧米並みに手厚い教育をうけさせてやれる世の中にしたかと思いが強くなります。入学説明にあたって「就学援助制度」のしおりも同封されていました。四分の一の子どもが生活保護に準じる水準にあり、この支援を受けます。本田久美子さんが投げかけた「子どもの貧困」解決にむけ、実が引き締まる思いです。